

令和6年度 本渡南小学校 学びの成長ランドデザイン(4月版)



【 目指す児童像 】

進んで学び、自らを高める努力を忘れず、「夢」に向かって挑戦する児童

～今を見つめ、未来を見つめ、「本当に必要なこと」を積み重ねること～

南っ子の
夢の実現へ

1 児童の学びに関する実態(令和5年度まで)

- 自分を高めたいという思いを持ち、真面目に取り組む集団である。
- 低中高の学年部の取組から、段階的なスキルアップが進んでいる。
- 積極的な学習態度であるが、学習の必要感を十分感じていない。
- ICTの活用により、考えの共有は速くなっているが、学び合いの質に関して差が生じてきている。(協働する相手の固定化傾向 等)
- 分掌や資料を読み取る力とスピードには個人差がある。

2 教師の指導に関する実態(令和5年度まで)

- 児童・教師の課題を見つめ、一体となって授業力向上を目指す前向きな教員集団である。
- 学習集団としての基盤である「生活の整え」に関して、クラス差が生じている。
- 学びの状況把握と言葉かけに関して差があるため、教師のスキルアップにより、学びの更なる成長が期待される。(ベテラン職員の活躍)

学びの成長に向けた本校の主な取組(令和6年度)

1 学び方のスキル習得→発揮につなげる、系統的な複線型授業

- (1)「学び方のスキル」の内容の見直しと更なる具体化・児童との共有
- (2)学び方のスキル育成に向けた教師の手立ての整理・実践・振り返り(単元デザイン、一斉型と複線型のバランス等)

2 児童の各教科の見方・考え方を育むための手立て

- (1)目指す児童の姿の具体化
- (2)理論の共有(教師間、児童間)
- (3)実践の蓄積と検証(単元デザイン、示し方、発問の工夫、既習事項・他教科とのつながり、教材研究 等)

3 児童の学びの姿の、確かな状況把握

- (1)「学び方のスキル」の成長
 - ・クラウドを活用した、児童の学びの把握と蓄積
 - ・実際の授業での児童の姿(コミュニケーション等)の記録
- (2)見方・考え方の成長
 - ・児童の言語化の質の高まり



学力向上を支える南小の基盤づくり

スキル向上に向けた全校的な取組

- ・「学び方のスキル」重点育成項目の設定
- ・「見方・考え方」に関する理論・実践研修
- ・教師の手立て

教師のICT活用力の向上

- ・目的の共有
- ・校内研修における活用研修
- ・クラウド活用の系統の共通理解

ソーシャルスキルトレーニングの実施

- ・良好な人間関係づくりの基本となる「聴くこと」「話すこと」「理解すること」「気持ちに気づくこと」等のトレーニングに取り組むこと(協働的な学びの充実)

少しずつでも確かな伸びを!